

富山市都市マスタープラン(素案)の 概要について

富山中央地域・富山東部地域

- ・都市計画法第18条の2に基づき定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、概ね20年を見据え、本市の都市づくりの方針を示すもの
- ・上位計画である富山市総合計画と都市計画区域マスタープラン(県)に即したもの

<対象区域>

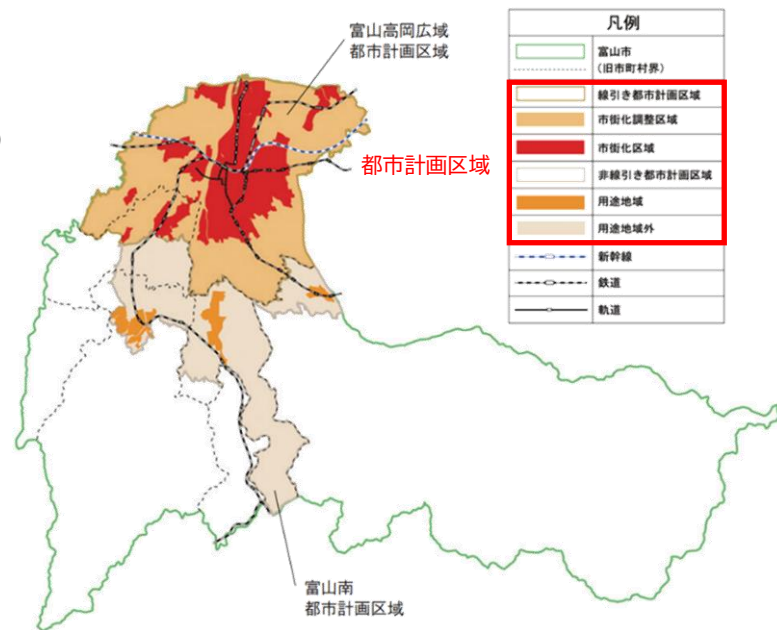
市全域

(都市計画区域を重点的に扱う)

<目標年次>

概ね20年後

2045(令和27)年



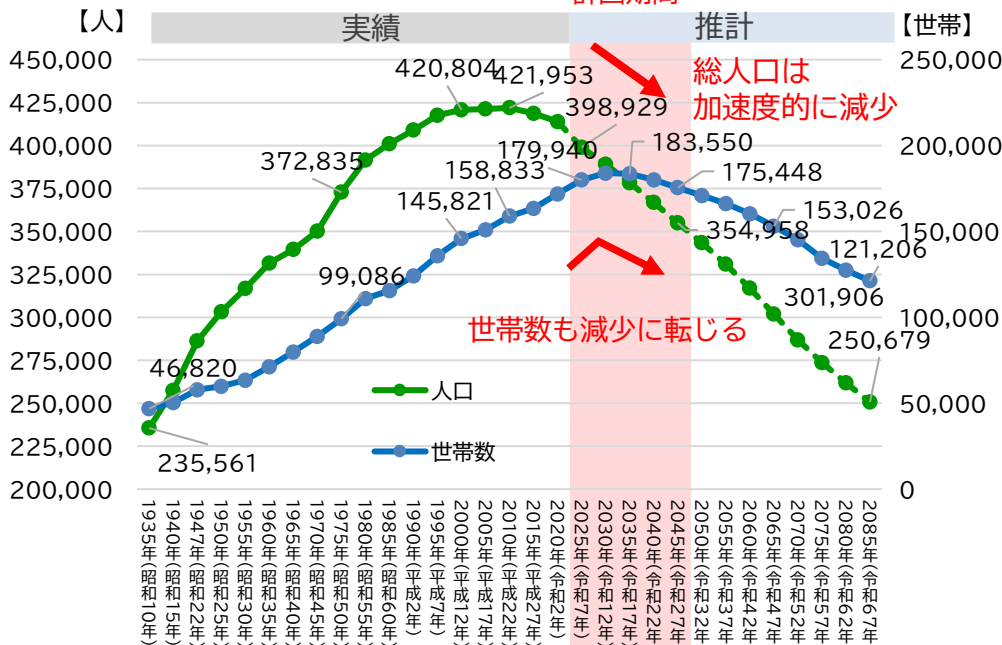
第I編 全体構想

現状の課題認識

- ・「コンパクトなまちづくり」により、市街地の外延化が抑制され、人口の低密度化に一定の歯止めがかかった持続可能な魅力ある“まち”への転換が進んでいます。
- ・しかし、今後、加速度的な人口減少と世帯減少への転換は、空き家・空き地の増加を促すなど、市街地に様々な影響を及ぼし、“まち”の問題は、より複雑化・深刻化することが懸念されるため、「市街地の人口密度低下」と「都市管理コストの上昇」を抑制させながら、既成の市街地や資源を活用して魅力が高まるまちづくりに取り組む必要があります。

<人口と世帯数の実績と将来推計>

計画期間



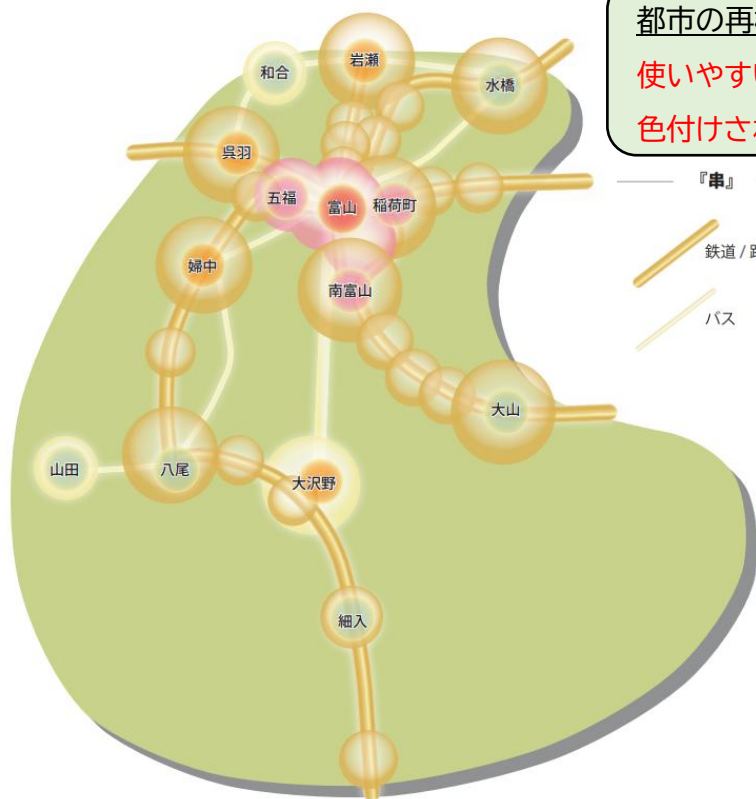
<課題認識>

- ①公共交通の持続性が低下し、極めて生活しづらい“まち”への転換
- ②“まばら”な市街地と“まち”の老朽化による生活環境の悪化
- ③拠点性の低下による都市全体の活力と魅力の喪失
- ④社会情勢の変化等による都市環境の変化

出典:実績(1935年~2020年)は国勢調査

推計は令和6年度富山市将来人口推計報告書(2025年~2070年)及び独自推計(2075年以降)

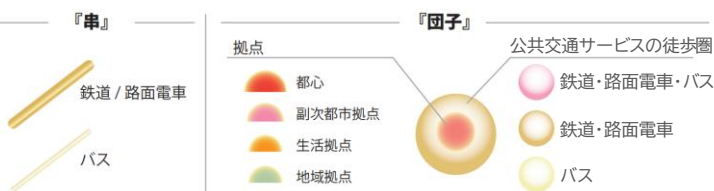
公共交通の活性化と、その沿線に居住や都市機能の集約を図るコンパクトなまちづくりを継続し、地域の資源を活かして魅力を最大化する拠点形成や既成市街地の利活用により、『公共交通を軸とした都市の再構築による拠点集中型のコンパクトなまちづくり』の実現を市民とともに目指す



都市の再構築により目指すお団子と串の都市構造

使いやすい「串」: 利便性の高い公共交通

色付けされた「お団子」: 串で結ばれた特色ある徒歩圏

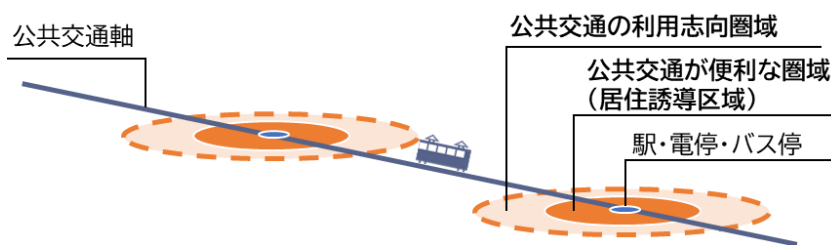


『都市の再構築』

既成市街地の「土地や建物」、「公共交通や道路・公園などインフラ」、「既存の都市機能や地域資源、自然環境」などの都市アセット(資産)を最大限に活かし、都市に新たな価値を付加する取組み。

- ① まちづくりの基軸となり多面的な価値をもたらす「公共交通の活性化」
- ② 市民が公共交通利用を意識した居住地選択ができる「公共交通志向型居住の推進」
- ③ 地域の個性を活かして魅力を最大化する「中心市街地をはじめとした拠点の形成」
- ④ 人口減少下における道路・土地・建物等の総合的な「都市マネジメントの推進」

<公共交通志向型居住の推進のためのエリア設定>



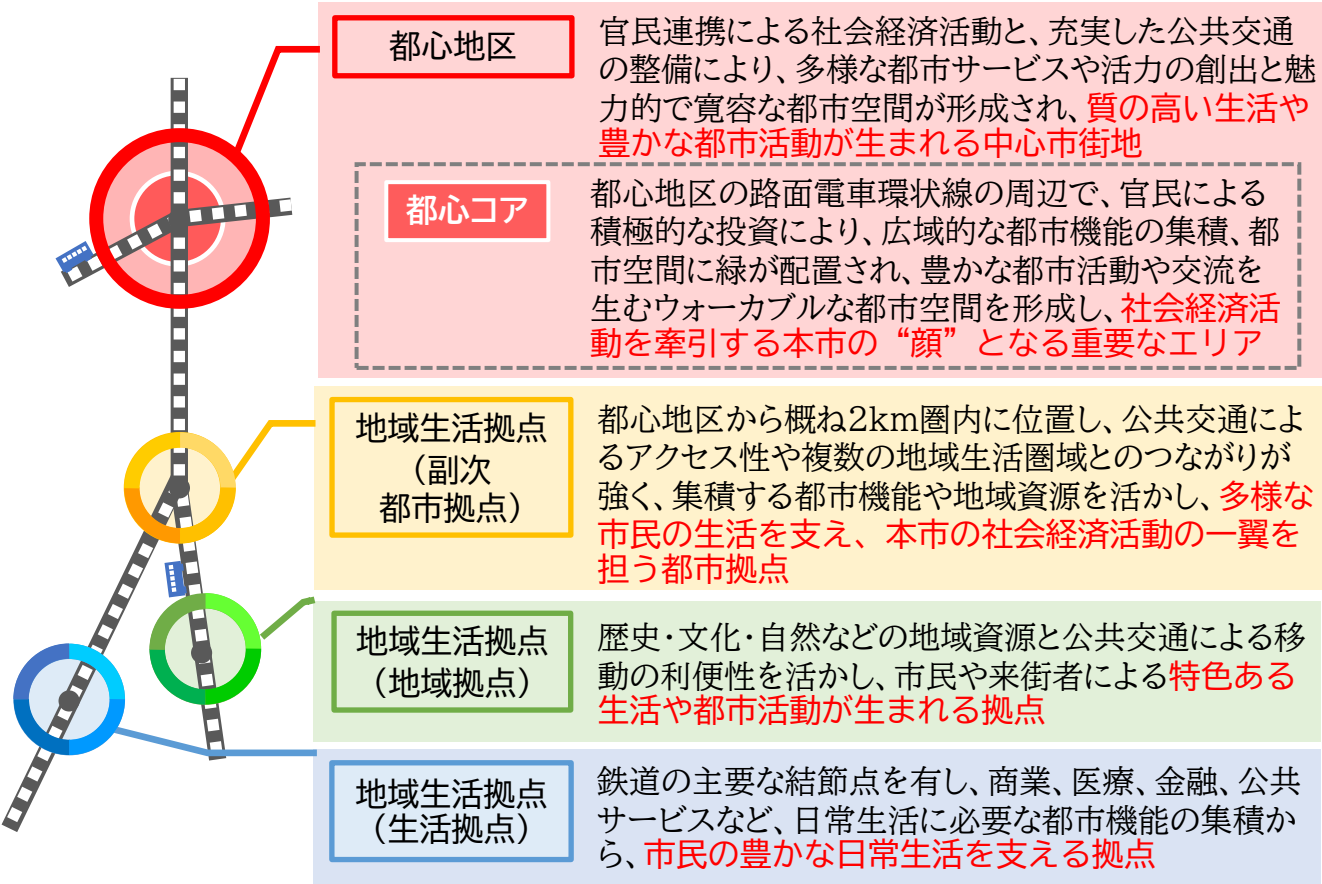
【公共交通の利用志向圏域】

公共交通軸の鉄軌道駅から概ね750m、バス停から概ね600mの範囲で、公共交通利用を意識した市民生活の醸成を図る圏域

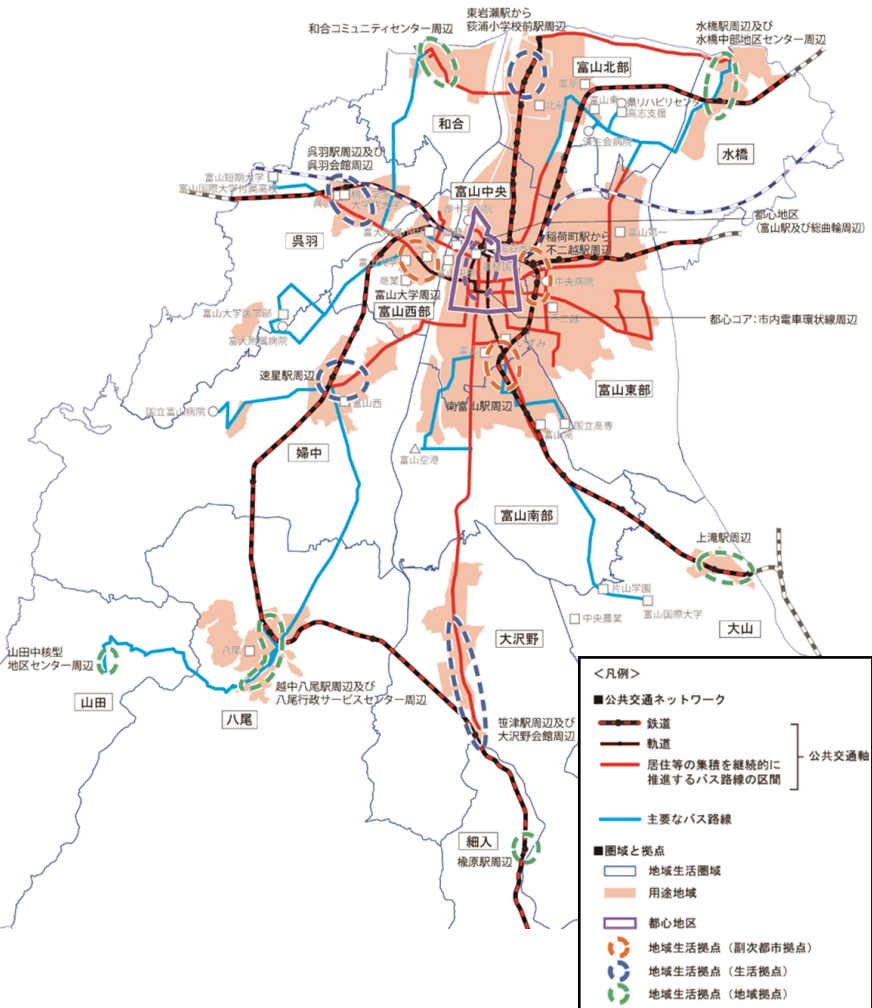
【公共交通が便利な圏域】

都心地区と公共交通軸の鉄軌道駅から概ね500m、バス停から概ね300mの用途地域等が定められた徒歩圏で、都市の諸機能や居住を誘導する圏域

＜地域生活拠点の役割の区別＞



＜公共交通軸と地域生活拠点＞



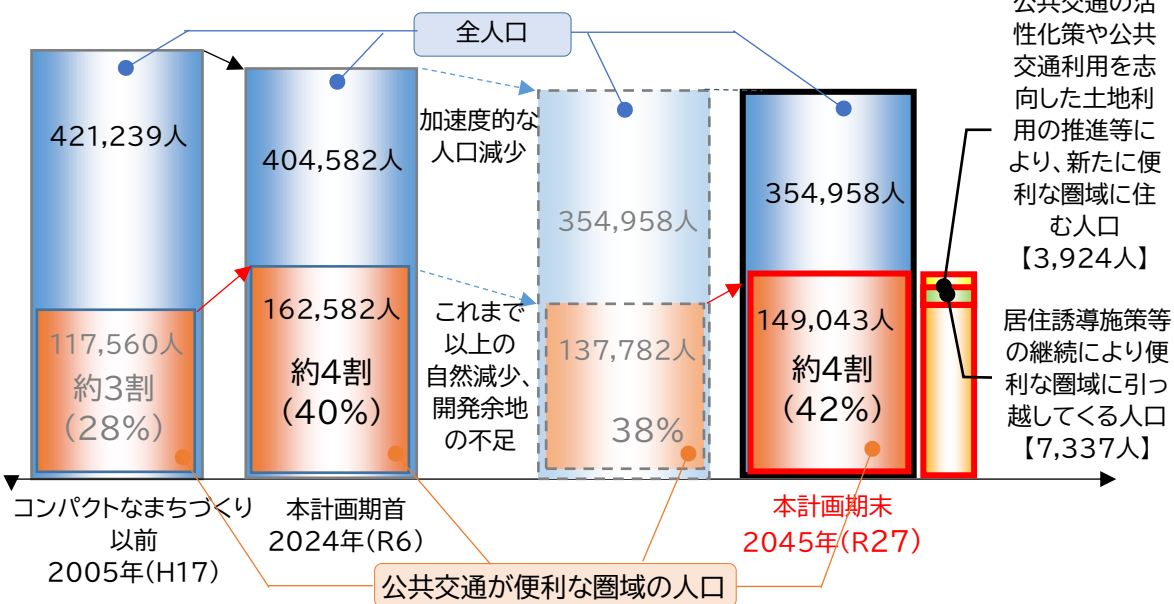
地域名	地域生活拠点の位置
富山中央	都心地区 (富山駅及び総曲輪周辺)
富山北部	東岩瀬駅から萩浦小学校前駅周辺
和合	和合コミュニティセンター周辺
呉羽	呉羽駅周辺及び呉羽会館周辺
富山西部	富山大学周辺
富山南部	南富山駅周辺
富山東部	稲荷町駅から不二越駅周辺
水橋	水橋駅及び水橋中部地区センター周辺
大沢野	笹津駅及び大沢野会館周辺
大山	上滝駅周辺
八尾	越中八尾駅及び八尾行政サービスセンター周辺
婦中	速星駅周辺
山田	山田中核型地区センター周辺
細入	檜原駅周辺

まちの目標

- ①車を使わなくても安心・快適な暮らしを実感できるまち
- ②市民のライフステージ等に応じた多様な住まい方が選択できるまち
- ③地域の個性が発揮された拠点集中型のまち
- ④持続可能で災害に強い、安全・安心のまち
- ⑤豊かな自然を守り育てる、環境に優しいまち

公共交通が便利な圏域に住む市民の割合

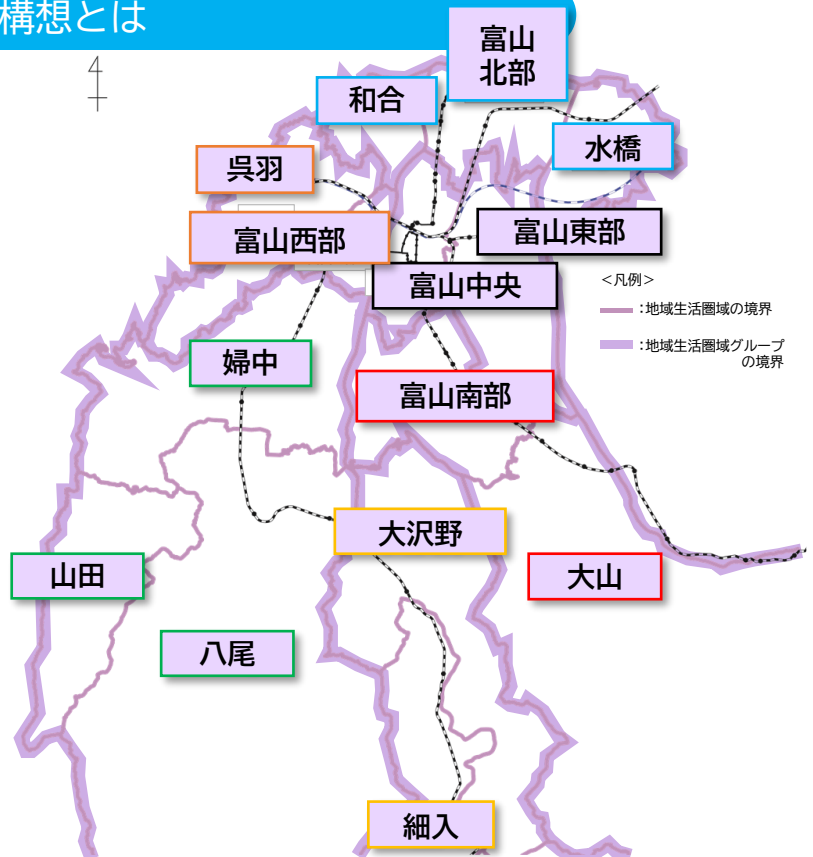
～20年後に約4割以上の維持を目指す



・14の地域生活圏域の現状を踏まえ、全体構想における位置づけ、市民アンケート結果や地域間のつながり(6つの圏域グループ)を踏まえつつ、市民ワークショップで出されたアイデア等を参考としながら、地域のまちづくりの方針を明らかにするもの。

<地域別構想の役割>

- ①各地域のまちづくりの基本的な方針
- ②各地域の都市計画や基盤整備の主な内容

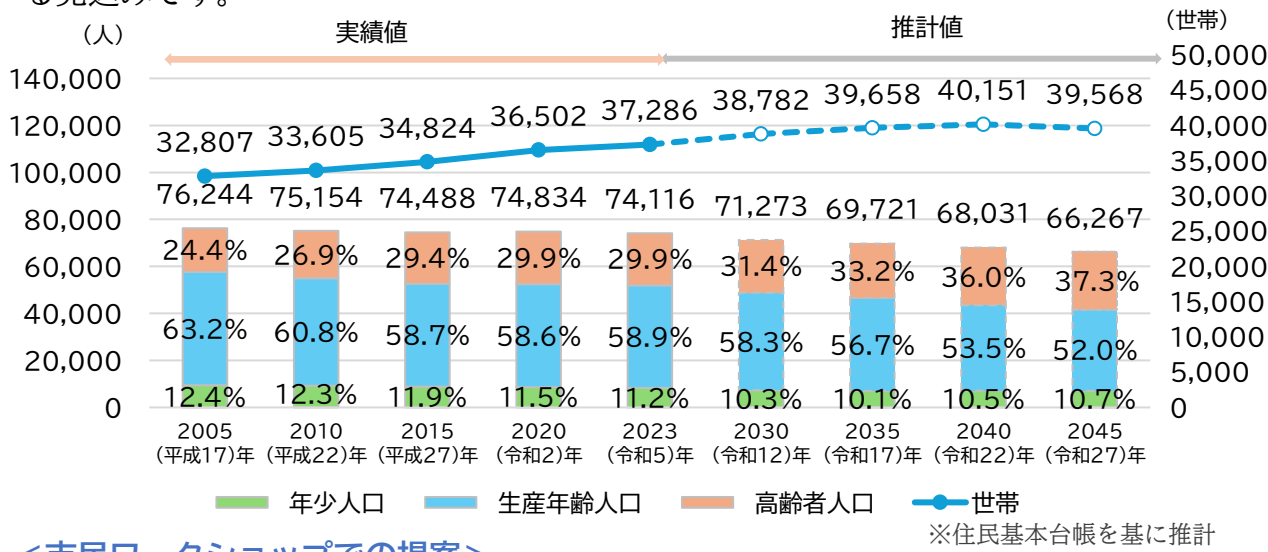


1 地域の現状

商業、業務の集積により広域的な役割を担うとともに、多様な生活サービスを支えるための人やモノ、情報などが行き交い、魅力と活力を創出する地域です。また、LRTが走る都市景観や歴史文化施設、松川などの地域資源が多数立地しています。

<人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し>

人口は減少傾向にあり、2023（令和5）年の人口は、74,116人、高齢化率が約3割となっています。今後、人口は継続して減少し、世帯数はピークを迎え、減少に転じる見込みです。



<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	「中心市街地の多様な機能集積（公園、城、美術館等）」「中心部の賑わい・誇り（飲食店、祭り等）」「住みやすさ・歩いて暮らせる」
《20年後の地域の将来イメージ》	おしゃれ、スマート、ハッピー／若い女性が住みやすいまち／歩ける、歩きたくなるまち＝安全、楽しい、住み続けたいまち

2 まちづくりの方針

- i) 質の高い生活や豊かな都市活動が生まれる都心地区の形成
 - ・全ての鉄軌道が結節し多くの市民や来街者が利用する便利な環境や、都市の諸機能の集積を活かし、商業や業務の活性化、市民や来街者の交流促進、都市機能の充実等を図ります
- ii) 本市の“顔”としての都心コアエリアの形成
 - ・路面電車環状線周辺では、広域的な都市機能の集積を活かし、都市の緑やウォーカブルな都市空間の質の向上を図り、社会経済活動を牽引する“本市の顔”としての市街地を形成します
- iii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成
 - ・公共交通の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新や都心コアエリアの魅力を高めることで、車に頼らずに生活できる良好な居住環境を形成します
- iv) 人中心の快適で賑わいのある都市空間の形成
 - ・徒歩や公共交通で安全快適に回遊でき、人と人との出会いが生まれる都市空間を形成します
- v) 都市の水辺や緑、歴史文化資源に親しめる場の形成
 - ・松川・いたち川、城址公園などを活かし、市民や来街者が都市の水辺や緑、歴史文化に親しめる場を形成します
- vi) 安全・安心なまちの形成
 - ・洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します

3 主な取組や土地利用の方針

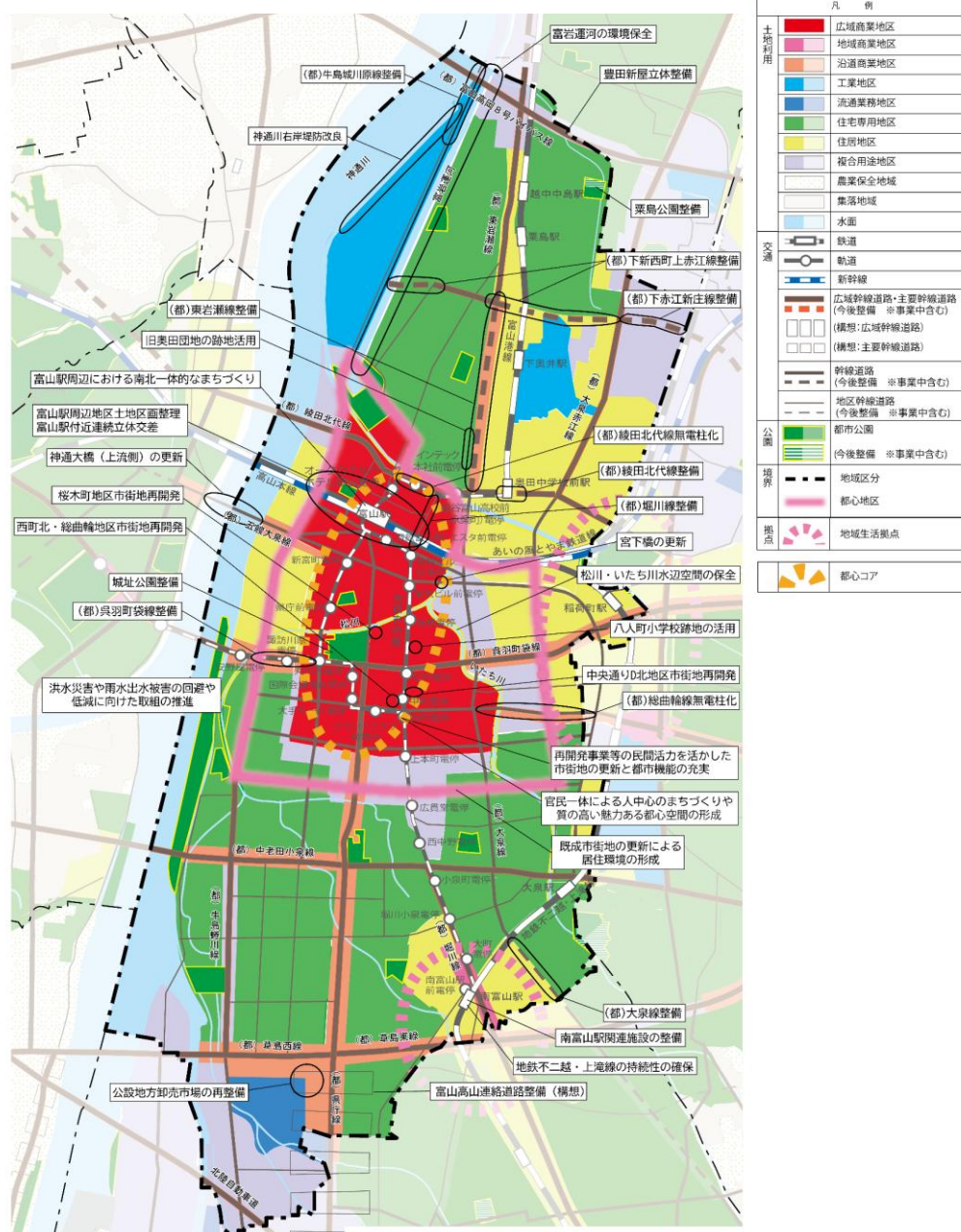
<主な取組>

- 【 串 】 ・あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道、富山港線の持続性の確保
・路面電車の利便性の向上
・市民の足としての生活交通等への支援
・都心や拠点間を結ぶバス路線の快適性の向上
・鉄道駅の利便性の向上
- 【 団 子 】 ・生活に必要な機能の維持や既成市街地の更新の促進
・官民一体による人中心のまちづくりや質の高い魅力ある都心地区の形成
・洪水や雨水出水等のリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理の推進

<土地利用の方針>

- 【商業系】 富山駅周辺や中心商店街等での小売業等の機能の維持や更新
【産業系】 運河や幹線道路周辺での産業集積の保全や都心コアエリアにおける業務施設の誘導
【住宅系】 公共交通活性化と併せた環境整備や沿道施設との調和、都心の賑わいや活動の基となる定住人口を増加させる再開発事業等による良好な住環境の形成

<まちづくり方針図>

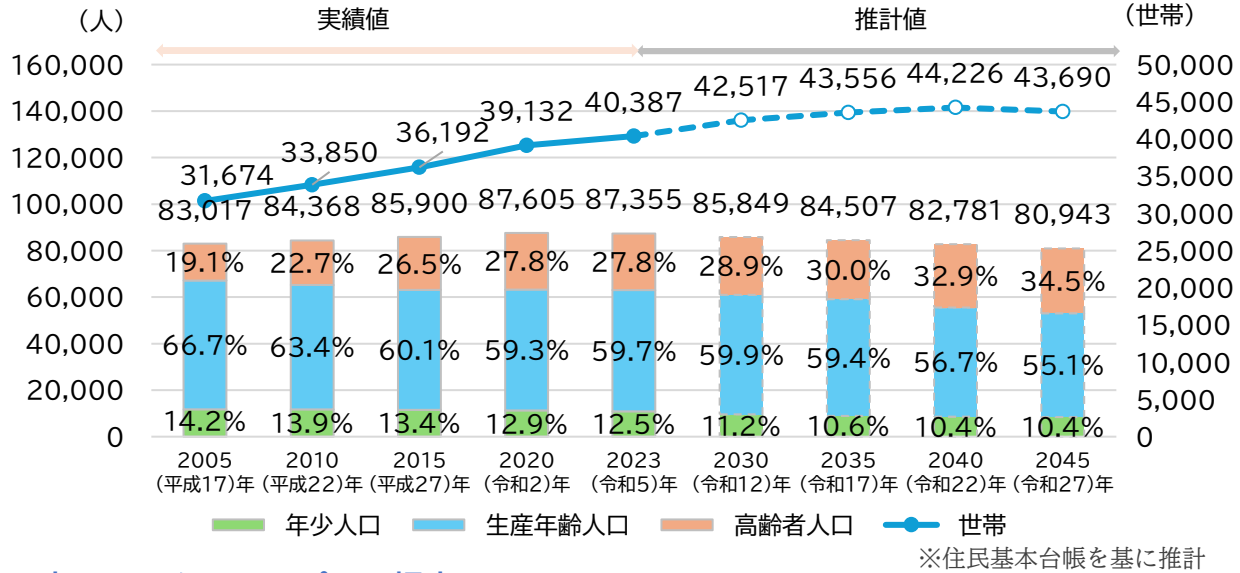


1 地域の現状

富山地方鉄道本線や不二越・上滝線、主要なバス路線の沿線にスーパーや飲食店等が充実し、都心地区へのアクセス性も高い地域です。また、国道41号・流杉PAスマートICなどの広域交通網、豊かな水資源と昔の暮らしを伝える施設が立地しています。

<人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し>

人口は減少傾向に転換しつつあり、2023（令和5）年の人口は87,355人、高齢化率が28%となっています。今後、人口は継続して減少し、世帯数はピークを迎え、減少に転じる見込みです。



<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	「歴史文化・観光・自然資源（新庄赤門レンガ・金岡邸・水資源等）」「教育施設集積、活力ある街（大学・公園等）」「交通利便性が高い（幹線道路）」
《20年後の地域の将来イメージ》	地域資源から始まるまちのコミュニケーション 歴史文化・教育・自然を活かした「次世代・交流・共存・共生のまち」

2 まちづくりの方針

- i) 公共交通の結節と市民生活を潤す多様な都市機能の立地を活かした副次都市拠点の形成
 - ・複数の公共交通が結節し、総合病院やショッピングセンター、大規模公園や温浴施設などの立地を活かし、商業や業務の活性化、多様な世代の交流機能等の充実を図ります
- ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成
 - ・あいの風とやま鉄道や富山地方鉄道、幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します
- iii) 大規模な都市公園や運動施設を核としたスポーツ・レクリエーションの場の形成
 - ・稲荷公園や市民プール等を核に市民がスポーツ・レクリエーションに親しめる場を形成します
- iv) 広域物流に優位な交通環境を活かした産業の保全や誘導
 - ・国道8号等の幹線道路や流杉PAスマートICへの結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります
- v) 水田などの営農環境の保全
 - ・水田などの営農環境の保全を推進します
- vi) 安全・安心なまちの形成
 - ・洪水等の災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理の推進

3 主な取組や土地利用の方針

<主な取組>

- 【 串 】 ・ あいの風とやま鉄道及び富山地方鉄道の持続性の確保
- ・ 都心や拠点間を結ぶバス路線の快適性の向上
- ・ 市民の足としての生活交通等への支援
- ・ 鉄道駅の利便性の向上
- 【 団 子 】 ・ 生活に必要な機能の維持や既成市街地の更新の促進
- ・ 稲荷町駅から不二越駅周辺での都市機能の維持や充実、交流拠点の形成
- ・ 洪水等のリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理の推進

<土地利用の方針>

- 【商業系】 稲荷町駅から不二越駅周辺での小売業等の機能を維持
- 【産業系】 幹線道路や流杉PAスマートIC周辺での産業集積の保全や新たな産業立地の誘導
- 【住宅系】 公共交通活性化と併せた環境整備や沿道施設との調和による良好な住環境の形成
- 【農業・自然系】 市街地周辺での個別開発の抑制による営農・自然環境の保全

<まちづくり方針図>

